

愛ちゃん

社協だより

NO. 87

令和5年(2023)1月号

発行 社会福祉法人 立科町社会福祉協議会
TEL.0267-56-1825 有線4091
FAX.0267-56-3815



福祉リサイクルバザー

たてしなふれ愛むら開催!!

新型コロナウイルスの影響を受けて中止になっていた、福祉リサイクルバザーとふれ愛むらでしたが、感染症対策を講じて3年ぶりに開催する事ができました!

半日に縮小になりましたが、バザー会場、ステージ発表や出店・体験コーナー等は大変賑わい、地域の皆さまと交流することになりました。

今月の記事

- たてしなふれ愛むら 2・3
- 福祉リサイクルバザー 4
- 地域活動支援センターから・ふれ愛園だより 5
- 地域の活動紹介します・ただいま便り 6
- 福祉体験・福祉講話 7
- 各種ご報告など 8

「愛ちゃん」の発行には
「赤い羽根共同募金」の配分金が使われています。

たてしな



たかさんの
ステージ発表

楽器の練習をしても
発表する機会が無かったので
発表の場があって良かったです



SHINDENの風



立科小学校合唱部



ふれあいフレンズ



otamaくらぶ

ふれ愛むら



手話を表現した軍手の
展示が面白いね!



立科町 手をつなぐ育成会
ころころりんの会

いろんな体験コーナーがあっ
とて楽しい!



たてしなホーム



民生児童委員協議会



高原野菜



楽しい
体験ブース

新型コロナウイルスの影響を受け、2年
間中止になっていた「たてしなふれ愛む
ら」でしたが、今年度は感染症対策を講
じて10月29日(土)に開催する事が出来
ました。当日は天候にも恵まれ、絶好のふ
れ愛むら日和となり、大勢の町民の皆さ
まにお越しいただきました。
今年度は老人福祉センター及び駐車場を
会場とし、町内の障がい福祉サービ
ス事業所、障がい者関係団体、民生児童委員
の皆さん、立科小学校合唱部の皆さん等
にご参加いただき、短い時間でしたがふれ
愛むらを開催しました。
ステージ発表では、観客の皆様さまから
の暖かい拍手を受けて、会場に一体感が
生まれる場面があり、大変盛り上がりま
した。出店ブースでは、各団体が趣向を凝
らした、体験コーナーや展示、作品の販売
は大変好評でした。
町民の皆様さま、各関係団体・ボランティ
アの方々に多大なご支援とご協力をいた
だき、たてしなふれ愛むらを開催する事
ができました。心より感謝申し上げます。
今後、地域の皆様とともに、互いに支
え合って暮らしていける地域づくりを目
指していきたいと思っております。

担当職員 櫻井 瑞恵

第34回

福祉リサイクルバザー

10月29日(土)コロナ禍のため3年ぶりの開催となりました。
規模を縮小したにもかかわらず、大勢の方にご来場いただきました。

品物を提供してくださった皆さま、当日買い物に来てくださった皆さま、開催にご協力いただいたボランティアの皆さまありがとうございました!

この売り上げは、住民貸出用福祉車両(車いす対応車)購入のための資金とさせていただきます。

2年間お休みしていた福祉リサイクルバザーでしたので、品物が集まるかな・・・お客さまは来てくれるかな・・・など、不安がたくさんありました。しかし予想以上に、たくさんの品物とお客さまで賑やかに終えることができました。

住民の皆さまの全面的なご協力により、開催することができました。本当にありがとうございました。

担当職員 内藤 明香



- 品物ご提供者 … 109名
- 参加ボランティア
延べ人数 …… 49名

バザー売り上げ
106,453円



立科町地域活動支援センターのご紹介

立科町地域活動支援センターでは、心身に障がいのある方が地域で自立した日常生活を送り、社会参加を推進することを目的として活動しています。ご家族以外の方とのコミュニケーションの場、自宅以外の活動場所、地域の皆さんと交流する機会などを提供しています。

作業体験

また、月に1回、調理や映画鑑賞会などのイベントを企画し、仲間づくりの機会を設け、参加者同士が楽しく交流できる機会を作っています。

- ・障がい福祉サービス等の利用方法について教えてほしい
- ・日中の居場所や活動できる場を探している
- ・自分のペースで体調や生活リズムを整えたい など

相談

ご希望をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせください。

※利用対象者は、町内に住所を有する、障がいのある18歳以上の方です。

相談支援専門員 櫻井 瑞恵

たてしなふれ愛園 電話:56-3721 有線:4321

障害者関係団体との交流



屋外活動(スポーツレク)



働く仲間の事業所

たてしなふれ愛園だより

生産販売している薪ストーブ用薪作り作業をご紹介します

たてしなふれ愛園では、障がいのある方が社会生活に必要な知識や能力を向上させるために様々な作業に取り組んでいます。今回はふれ愛園で生産販売している薪作りをご紹介します。

チェーンソーで切り分けた原木を運び、薪割り機で使いやすい大きさに割った薪をハンマーで薪輪に詰めて完成です。そして薪の多くはご注文頂いたお客様のお宅に配達しています。町内のボランティアの方々のご協力を頂きながら、利用者さんが一丸となり作業に取り組んでいます。近年は薪の需要が増え、今年度は立科町のふるさと納税返礼品として登録して頂き、早々と上限数に達するほどのご注文を頂きました。今年も寒さが身に染みる季節となりました。薪ストーブを使用している町内の皆様にもご利用頂ければ幸いです。



職業指導員 武重 喜人
サービス管理責任者 小宮山 寛

たてしなふれ愛園 電話:56-3721 有線:4321

ご興味のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。

立科発

地域の活動紹介します

今回は藤沢老人クラブの活動を紹介します。

まだ暑さの残る9月、藤沢老人クラブでは2回にわたりスマートフォン講座を開催しました。

「おらの町でもインターネット」の皆さんを講師に迎え、蓼科ケープルビジョンさんにも協力いただき、スマートフォン操作の基礎から教えていただきました。



最近スマートフォンを持つようになった方から、すでにインターネットを使いこなせる方まで、スマホ使用歴の差は様々でしたが、ひとりひとりの質問に、講師の皆さんとも丁寧にも丁寧に根気よく

答えていました。

あちこちで笑い声が上がリ、皆さん楽しくレベルアップしているように見えました。



「電話とメールがやっとこだとおっしゃっていた方も、グループラインでスタンプを送り合うくらいまで上達されています。」

地域福祉コーディネーター

内藤 明香

脱デジタル難民!!

送ったよ~!!



届いた!

はじめての防災訓練

はしらない



縁側から外に出ます!

地震だ!



もどらない



ただいままでは、初の防災訓練を行いました。この日は大変冷えた朝となりましたが、訓練開始の頃には、秋晴れになりました。

震度5強、屋外避難が必要という設定にしました。

5分後には、全員無事

駐車場に避難できました。

これからストーブヤこたつなど使う機会が多くなります。火事にならないように、また地震が発生しても慌てないことを再確認できました。

に、また地震が

発生しても

慌てない

ことを

再確認

できま

した。

おさない



落ちついて!



ちよつぷり緊張したひとときを過ぎたあとは、今年最後の柿の皮むき作業に戻りました。今年もおいしい干し柿をたくさん食べられそうです。

柿を寄贈してく

ださった皆さま、あ

りがとうございま

した。

担当職員

飯塚 千鶴子



福祉体験教室

「ふだんのくらしのしあわせ」

立科中学校での人権教育の一環として、
社会福祉協議会の福祉講話・福祉体験教室で授業を行いました。
10月27日は3年生が車いす体験と福祉について考える講話、
11月17日は1年生が車いす体験をしました。



について考えよう!

福祉講話 感想

高齢者や障がい者に関わる事だけが福祉ではなく、ふだんのくらしの幸せのためにみんなが協力する事が大切だと思いました。



車いす体験 感想

自分のペースより相手が安心できるスピードで進むことを意識しました。



一緒に住んでいるおじいちゃん、おばあちゃんのお手伝いを、積極的にしたいと思いました。



今の自分にもできる事があるとうわかりました。



車いすを体験して、乗っている時に声かけをするなど、自分がされて嬉しい事が心がけて介助しました。

講師から

生徒の皆さんの顔を見ながらお話をするのは、緊張しましたが、人権と福祉の大きな繋がりを意識した時間でした。
皆さんの感想を読ませてもらい、「ふくし」が特別なものではなく、誰にでも関わりがある事だと伝わったように感じました。

地域福祉コーディネーター
内藤 明香



中学3年生の皆さんの、真剣に話を聴いてくださる姿勢、中学1年生の皆さんの一つ一つの純粋な反応がとても印象的でした。

今回の体験を通して福祉に興味を持ってもらえるよう期待しています。

生活支援員 西方 歩美



車いす体験では真剣に、時には楽しそうに体験していただきました。また講話では、「ふくし」について考えていただき、感想からも生徒の皆さんの優しさが伝わりました。

今回の学習を通して、思いやる気持ちや、支え合うことの大切さを改めて考える機会にしてもらえればと思います。

ボランティアコーディネーター 山越 未来

第12回

ちょっと一息頭の体操

立科町クイズ

第1問

立科町のマスコットキャラクターはなんという名前でしょう？



たてしなの町名が入ってます。

- ① しいなちゃん ② りんごちゃん

第2問

立科町は三つの村が一緒になってできました。その村の名前は？



横鳥村、三都和村、●●村です。

- ① 女神村 ② 芦田村

前回の答え 第1問「①長野県」 第2問「①蓼科山」

官製はがきに ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④クイズの答え

⑤今号の社協だよりのご意見・ご感想をご記入のうえ、立科町社会福祉協議会へお送りください。

■お問合せ 社会福祉法人 立科町社会福祉協議会 北佐久郡立科町芦田2523 (TEL)0267-56-1825 (有線)4091

※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



抽選で2名様に素敵なプレゼントをお贈りします!

令和4年度「希望の旅」で仲間と交流しました!!



- ◎ 立科町内在住の障がいのある方の交流とレクリエーションを目的とした希望の旅事業を、10月8日(土)に行いました。過去3年間は新型コロナウイルスの感染拡大、大型台風接近等の影響で中止していたので、今回4年ぶりに実施することができました。
- ◎ こまめな手指消毒や換気など、しっかりと感染症対策を行い、日帰り旅行に行きました。最初に『SUWAガラスの里美術館』を見学し、その後は駒ヶ根市にある『ピアンテさくら亭』でおいしい昼食をいただきました。

午後は伊那市にある『かんてんぱぱガーデン』と『菓子庵石川アルプスファクトリー』で見学と買い物を楽しみました。移動中のバスの中では、レクリエーションとして座ったまま行えるイス体操で気持ち良くリフレッシュ! 参加されたみなさんは、それぞれ希望の旅での仲間との交流を楽しまれていました。

担当職員 小宮山 寛

久しぶりに旅行に行けて良かった!

楽しかったので来年も参加したい!



ボランティア実践講座のご報告をします!

9月10日に商工会女性部の皆さま、10月2日に(株)小宮山土木の皆さまにご協力いただき、国道142号線のごみ拾いを実施しました。毎年ご家族の皆さんを含め、大勢の方にご参加いただいています。

今年度は6回の開催で、延べ192名の方にご参加いただきました。町内企業や団体の方々、小中高校生や、町内で活躍されているボランティアの皆さま大勢にご協力いただきました。

ありがとうございました!!

ボランティア活動をしたと考えている方、コロナ禍でなにも楽しい事がないと悩んでいる方、来年度も企画していきます。

是非ご参加ください!

ボランティアコーディネーター 山越 未来



令和4年度 長野県身体障害者福祉協会 理事長表彰を受賞しました



今井 剛健さん

立科町身体障害者福祉協会の13年間会長としての功績が認められ、長野県身体障害者福祉協会より表彰されました。

「愛ちゃん」は、町のテレワーカーが携わっています。



田原千雅



鈴木美保



清水舞



鈴木裕見子



依田美里

善意のご寄付ありがとうございます

立科小学校教職員有志 様	30,000円
立科小学校6学年 様	212円
匿名	25,962円

いただいたご寄付は、町内の福祉事業に活用させていただきます。米や食品等のご寄付は、町内で活用するとともに、フードバンクや近隣の社会福祉協議会を通じて広域での食糧支援にも使わせていただきました。ありがとうございました。



十八塚りんご生産共同組合様より『りんご3ケース』をはじめ、たくさんの方から、お米や食品等ご寄付をいただきました。

マスク200枚、玄米1袋、石けん、手指消毒液400ml×3本、収穫用かごなど、玄米30kg、すいか6個、食品、玄米3俵、米(粳)5袋、柿米袋3つ分、かぼちゃ10ヶ、豆10kg・玄米60kg、白米25kg、